

自主防災力を

継続・向上させよう

阪神・淡路大震災で生存者を救出できたのは、大部分が3日目まででした。

このような傾向はほかの大地震でもみられ、地震発生から最初の3日間は、人命を救助するために非常に重要な「黄金の72時間」と呼ばれています。

人命救助に最も大切な地震発生後の72時間を中心に、県、市町村、防災関係機関などは人命を救う応急活動を最優先に行います。しかし、南海トラフ地震では高知県の広い範囲で甚大な被害が発生し、公的な救助活動が被災地全域に行き渡らないことも想定されます。そのため、地域で助け合って救助活動を行うことが重要です。



●住宅防火

いのちを守る7つのポイント

3つの習慣

- ・寝たばこはしない
- ・ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ・ガスコンロなどのそばを離れるときは必ず火を消す

4つの対策

- ・逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器を適切に設置する
- ・寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する
- ・火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する
- ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

火災による死者を減らすためには、一人ひとりが普段の生活の中で、防火に関する意識を高め火災予防の対策をすることが何よりも大切です。

消防団員募集



◆消防団の活動

消防団は、消防本部や消防署と同じく、消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置される消防機関です。消防団の活動は消火ではありません。地域における防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。

近年は女性の消防団への参加も増加しており、特に一人暮らしの高齢者宅への防火訪問や応急手当の普及指導などにおいて活躍しています。

◆消防団の位置づけ

火災や大規模災害発生時に現場に駆けつけ、その地域での経験を生かした消火活動・救助活動をおこなう非常勤特別職の地方公務員です。

◆消防団に入るには

町には14の分団があります。町内在住の方または職場が町内にある方が入団可能です。

詳しくはお住まいや職場を管轄する分団または本庁 情報防災課 消防防災係(☎43-2188)までご相談ください。

お問い合わせ

【本庁】情報防災課

南海地震対策係 ☎43-2188

【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第1係

☎55-3113